



「経済効果の高い作目に切り換えたら…」土屋さん

知事 山林解放につきましては、先日、球磨郡湯山の県有林をお返しし、地元で栗を植えていたゞいております。やはり、おっしゃるように、利用度の高いところで、地元計画が具体化したら、そういう線で片づけなければならぬと思います。

綾部 さんが、恩給林のことを言っておられました。綾部 私がいますのは、山間部の人口流出による後継者の問題。これは、農業にもあてはまるとは思いますが、均分相続に第一の起因があると考えられます。

知事 土地贈与を柱にして林業の基盤整備をしようというのは面白いご提案です。

「というのがありますが、その農村版ですね。」

「一月とか二月とかは受け入れてくれる農家はあっても、果して三日とか四日ぐらいで受け入れてくれる農家が県内におられるでしょうかね。あなたは受け入れてよいと言われますが。」

前崎 この話を徹底していけばおられるんじゃないかと経営改善同友会の話です。書いておりますね。たゞ、問題なのは人選で

この制度は、農業後継者だけでなく、社会科の先生、農業に関心のある人などにも利用してもらい、農村と都市との交流を図るといっても研究していいのではないのでしょうか。

知事 いまのお話は、昔、職人の修業で全国を渡って行く「西行(さいぎょう)」

ね。

ところで、一応観光から産業・畜産・農業・林業とひとわりレポートに書かれています。お話ししたいようにですが、このあたりで、レポートに書かれなかつた県政一般のごでこうしたらいいじゃないかと思うことはありませんか。皆さんは、着想のよい方ばかりですから、思いつきで結構です。それが大変参考になりますから。

農地信託で協業化へ

中西 明治百年祭の一環としてきょうの行事が企画されたと思いますが、こういった斬新な企画をどしどし取り入れていただくと思ふ一つのプラスになると思っています。

池田 やはり、発展には産業がいちばん大事だと思います。その発展にいかにか



「可能性のあるものは伸ばして…」池田さん

「というのがありますが、その農村版ですね。」

「一月とか二月とかは受け入れてくれる農家はあっても、果して三日とか四日ぐらいで受け入れてくれる農家が県内におられるでしょうかね。あなたは受け入れてよいと言われますが。」

前崎 この話を徹底していけばおられるんじゃないかと経営改善同友会の話です。書いておりますね。たゞ、問題なのは人選で

うことも必要ですけれども県自体のP・Rをぜひ行なっていただきたい。

文化の芽を育てる配慮を

恒松 一般的に画家とか作家という人は、中央で認められてから郷土に帰ってきがちになります。そして、いつも一匹狼で活躍しておられます。そこで、佐賀県では、図書館あたりが主体となって、

与するかが私どもの使命とします。そこで、可能性のあるものはほとんどやっ

中西 最近、兼業農家がふえているようです。しかし、これからの農業は兼業農家ではいけないと思います。専業農家の作物と兼業農家の作物は、やはり質が違いますから。専業農家の方向に重点を置いて指導したいと思っています。

佐藤 私も同感です。勤めている人が、自分では耕作したくない、しかし農地は手放したくないということです。農協で請負耕作をしているところがあります。熊本県では、そういう例はありませんか。

知事 農協の信託制度というものを作りましたが、実際に農協に耕作を信託した事例はありませんね。この制度に応じられると非常にいいのですが。

佐藤 私がレポートに書いた協業体というの、こういった形で作りたいた言うのですよ。そうすれば、農業にたずさわる人も農業から離れた人も一つのことと専念できるわけです。

知事 農地の信託によって農業の協業化を促進して行こうというわけですね。

知事 県内に二十人か三十人、受け入れてくれる方がおられればなりたちますね。

前崎 そうですね。そして、農繁期に来てもらうと困りますので、受け入れ時期を決めておくといった工夫がいろいろあります。

知事 おもしろい話ですね。

上田 私の意見は具体的にはレポートに書いておりますが、総理府の青年海外派遣に県費で優秀な青年を派遣する。また、県の「青年の家」建設、それからさきほど申しました天草の「青年の島」建設。それと知事と青年との対話の機会をどしどし作っていただきたいということです。

中西 同じく、人づくりの問題ですが、現在、若い人達がどんどん県外へ流出しており、人口の老化現象ということが懸念されます。そこで、県では、大いに人

佐藤 根本的には、分業化の形になるわけです。



「農協の信託制度を…」佐藤さん

知事 それがどうも農地の信託制度になかなか応じてくれませんか。というのは、信託すれば、取られるのではないかと懸念と、農地が財産保全の手段と云うような傾向になっているものですか。

人づくりの問題も皆さん、随分ご提案があったのですが。

農業後継者の育成問題

前崎 農業後継者のことで二つほど。一つは、私のところに、県の経営伝習農場生、県外からの農業実習生、県内の農高卒業生を受け入れたんです。ところが、これら三者のなかで、伝習農場生は立派な施設で勉強しておりながら、何と

遣に県費で優秀な青年を派遣する。また、県の「青年の家」建設、それからさきほど申しました天草の「青年の島」建設。それと知事と青年との対話の機会をどしどし作っていただきたいということです。

それから、昨日私は宮崎へ行ったんですが、宮崎では、県民全体が観光県という意識しており、親切ですね。熊本県でも、県民一人一人が自覚するとい

つくりの問題に力を入れて欲しいですね。

小形 同感です。どなたか述べておられたように、今の時点で県外流出がやむを得ないとなると、やはり底辺労働者の供給としてではなく、実質のある労働力の供給といった点での人間開発をすべきですね。その意味で、熊本県は山間地帯が多いので造園工学科の設置というのを考えたのです。そして、そこには庭園

県民性を高めるアイデアがいつぱい